



城下町水沢に春きたる

くり鍵まつり

くくり雛は「押し絵」の技法で作られた雛人形のことで、水沢地方独特の呼び名です。厚紙の 部品の上に綿をのせ、布で包み組み合わせて押し絵に仕上げています。

水沢地方では、綿を布で包むことを「くくる」と言うことから「くくり雛」と呼ばれています。く くり雛の起源は、江戸中期にさかのぼり、その後、水沢の画人、砂金竹香が女性や子供達に教え 伝え、明治から大正時代に盛んに作られました。

内裏雛や三人官女、五人囃子のほか、歌舞伎やおとぎ話などを題材にしています。くくり雛の 背面には、竹などの串がつけられ木製の台にこの串をさし、ひな壇に飾ります。





ご来場の皆様へ「新型コロナウイルス感染症対策のご協力をお願いいたします。

- マスクの着用、手指の消毒等ご協力をお願いいたします。
- ・ 発熱(37.5℃以上)やのどの痛み、頭痛等、体調不良の方は、ご来場をお控えください。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により内容の変更や中止となる場合が あります。





水沢くくり雛保存会 会員募集中

水沢くくり雛保存会では、くくり雛の制作や、 まつりの運営を通して、保存継承に携わって いただける新メンバーを募集しています。

入会希望者または関心がある方は、

(一社)奥州市観光物産協会 担当 渡邊まで TEL0197-22-7800



